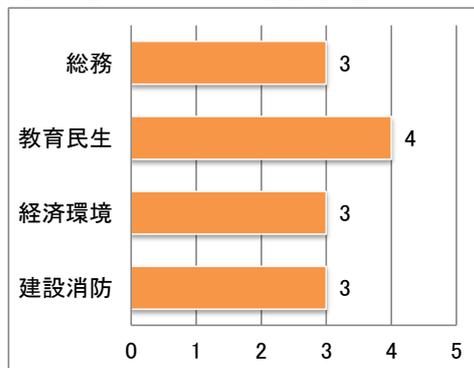


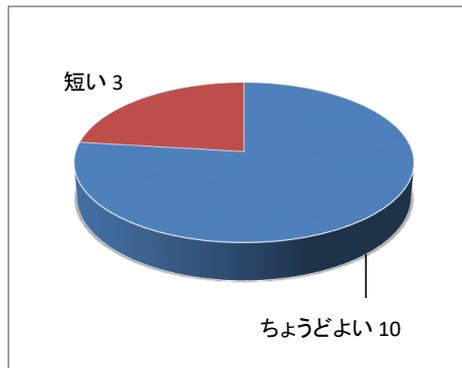
高松第一高等学校生徒との意見交換会 アンケート集計結果

参加人数：18人（アンケート提出人数13人）

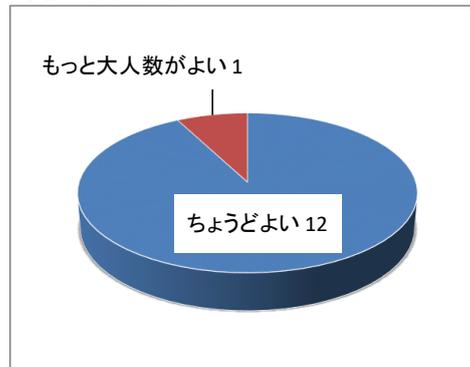
問1 参加グループ（委員会別）（人）



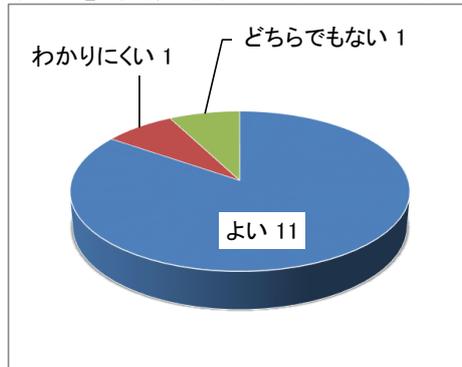
問2 意見交換の時間（人）



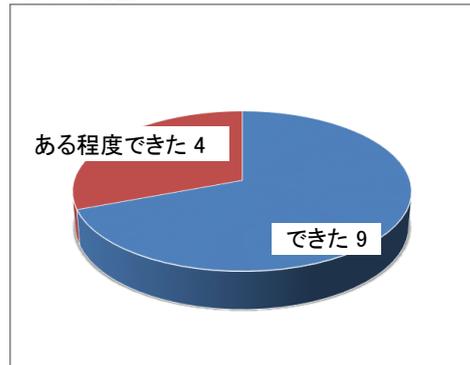
問3 参加人数（人）



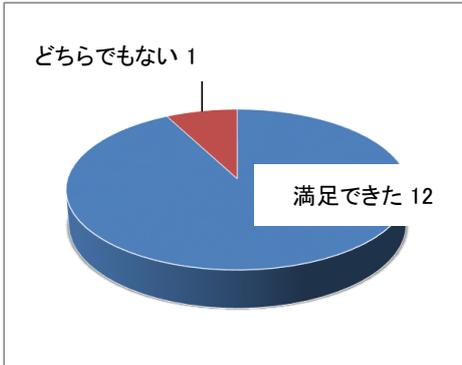
問4 意見交換会のテーマ（人）



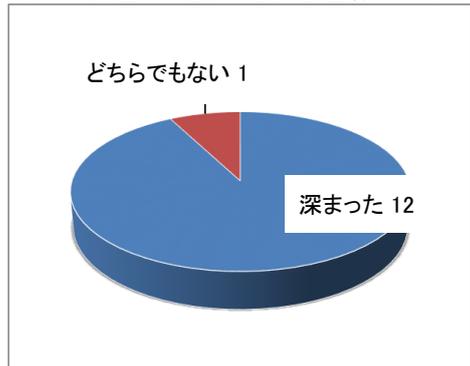
問5 発言（人）



問6 満足度（人）



問7 政治・議会に対する理解（人）



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。

- ・市が次に作ろうとしている条例の内容
- ・若者に魅力のある建物の設置
- ・働き方改革について話したいです。先生方の労働時間が長いと思うので、部活動の在り方や事務仕事について改善すべき点を話し合い、行動を起こさせる第一歩にしたいです。
- ・小学、中学、高校を通しての思い出
- ・子供、老人、障害者等の社会的弱者への対応
- ・労働時間が大幅に超えている会社への取りしめり
- ・市政が行っている活動を詳しく知りたい
- ・税金についてもっと知りたいです
- ・街づくり
- ・教育
- ・SDGsと市の開発の融合
- ・教育…地域密着型の教育を増やすために
- ・観光
- ・これから香川をどのようにアピールして盛り上げていくかについて深く考えるようになった。

問9 感想・議会に対する意見等

- ・ふるさと納税のことについて知るだけでなく、深く考えることで、活性化させることの難しさが分かった。
- ・自分の伝えたいことを直接伝えることができた。
- ・議員さんとお話する機械はほとんどないので、最初は自分の意見がきちんと伝えられるかや、伝わっているかなど、心配な部分もあったけれど、議員さんが質問してくださり、雰囲気に対し和めたような気がしました。自分の意見が伝えられて良かったです。
- ・普段考えないことについて考えることができてとても良かったです。
- ・実際に市で働いている職員の方々と意見を交換できてよかった。
- ・個人的に高校生達ばかりが意見を提案するばかりだと思ったので、市の内部事情や市民の現状などの情報をもっと欲しい。
- ・自分の伝えた意見を全て肯定してくれるので、すごく言いやすかった。また、肯定するだけでなく、そこから発展した内容を提案してくれ、すごいなと思った。
- ・普段体験できることではないと思うので良い経験になりました。楽しかったです。
- ・議題がわかりやすく、自分の意見を積極的に言えて楽しかった。
- ・生徒会で市議会議員との意見交換会があると聞いたときから第1回は特に緊張して、資料の内容も難しく不安でしたが、実際してみると議員の方々もやさしく、発言しやすい雰囲気で、楽しく意見交換ができたと思います。来年もあれば参加したいです。
- ・明るい雰囲気で話しやすかった。
- ・初めは、市議会の方々ときちんと話せるのか、不安だったし、緊張していたが、意見を出しやすい雰囲気を作ってくださったので、自分の意見を言うことができた。実現が難しいような意見が出ても、否定せずに受け止めてくださり、また、それをどのように工夫すれば実現できるか話を深めることができとても嬉しかった。来年もぜひ参加したい。
- ・今まで知らなかった部分を知ったり、もう一度香川を見つめなおすことでどのように対策していくかが分かるようになると思う。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいのか。

- ・福祉の整備をして住みやすい都市にする。
 - ・自然と都市の調和がとれた町づくり
 - ・今回の交流で話し合ったことを実行していけば、もっといいまちになっていくと思います。みんながつながれるようなまちにするためには、まちの人との交流がかかせないと思います。その交流がいざというときの防災などに役立つと思います。みんなが笑顔であったかいまちに、この高松市をよりよいまちにしてほしいです。
 - ・老若男女多くの世代での意見を聞いてより多くの人が快適にくらせるようにする。
 - ・市民の意見を基にした独自の取り組みを行うこと。
 - ・高校生に意見を求めてくれるのはとてもうれしいです。だから高校生に限らず、地域の住民の人とも同じように意見交換会をすれば、もっとさまざまな角度からの意見が出ておもしろいと思います。
 - ・公共交通機関をより使いやすくしてほしい。
 - ・「高松市といえばコレ！」というものを広めていく。
 - ・市民の意見が市に届きやすい機会、空間をつくる。
 - ・今回のような意見交換会を多世代の方として、回数も増やす。
 - ・勉強と仕事、娯楽、休息できる場所が充実しており、住み続けたいと思う町づくり
 - ・四国遍路や栗林公園などは、都市が発展していても必ず残してほしい。
 - ・娯楽施設のみならず、自然も大切に安らげる場所があったらいいと思う。
 - ・伝統産業と商業を融合させるなど、伝統も絶やささないでほしい。
 - ・県内の他市町とも一緒に考える。
 - ・「若者重視」だけではなく、どの年齢層も香川にいて安心でき、楽しく充実した生活を送れるまちづくり。
- 香川に観光に一度来て終わりではなく、永続的に住んでもらうためには、さまざまな分野(教育・観光・経済など)が協力して、10年後、20年後を見据えた大きな都市計画プランのもと計画的に動く。
- ・若者に向けて新たに開発するのはもちろん、香川特有の田舎ののどかさや自然の美しさを活用していく。